

要性を訴えた。

動物愛護の視点でペットの不妊手術について理解を深めようと、鳥取共生動物市民連絡協議会が開いた。

岡本助教は、ペットの不妊手術の必要性について▽発情行動(鳴き声、マーキングなど)の阻止▽野良犬、野良猫の増加阻止▽ペットの性ホルモン依存疾患の予防―を主な理由に挙げ、特に野良犬、野良猫の増加は▽狂犬病、寄生虫病など人獣共通伝染病の拡大▽駆除や処理に伴う税金の無駄遣い―などの弊害を生むと指摘した。

さらに犬、猫の繁殖生理パターンや最新の手術例、海外の研究結果を示した上で、生後三カ月以内をめどに行う早期不妊手術への理解と普及を訴えた。

## 「ペットの不妊手術考えて」 鳥取で講演会

人とペットの共生の在り方を考える講演会がこのほど、鳥取市の県民文化会館で開かれた。鳥取大学農学部岡本芳晴助教授が「イヌ、ネコの不妊手術のすすめ」と題して講演し、科学者の立場でペットの不妊手術の必

## 動物の不妊手術 普及訴え講演会

22日に鳥取で

人と動物の共生するま  
ちづくりを目指す市民団  
体「鳥取共生動物市民連  
絡協議会」(中市素子代  
表)は二十二日午後六時  
半から、鳥取市尚徳町の  
県民文化会館で、動物の  
不妊手術について説く講  
演会「不妊手術のすすめ」  
を開く。入場無料。

講師は鳥取大学農学部  
の岡本芳晴助教授。猫の  
不妊手術の医学的メリッ  
トなどを説明する。

近年、飼い主が不妊手  
術を怠った上、ペットを  
捨てるケースが増えてい

るため、捨て猫などに  
よる迷惑行動が問題とな  
っている。講演会は、解決  
策の一つとしての猫の不  
妊手術について、正しい  
知識を広めるねらい。  
問い合わせは、同協議  
会(電0857-3912  
323)へ。